

令和7年度 栃木県養護教育研究会春季研修会開催（481名参加）

期日 令和7年6月24日（火）

会場 栃木県総合文化センター メインホール

1 開会

2 会長あいさつ

栃木県養護教育研究会会長

大牧 稔

3 来賓あいさつ

栃木県教育委員会事務局健康体育課長

熊木 則裕 様

4 研究発表

(1) 「健康教育の推進 ～養護教諭の資質向上を目指した授業への関わり～」

発表者 宇都宮市立城東小学校 外園 久美子 先生

宇都宮市立岡本小学校 岡田 未久 先生

(2) 「救急救命研修を実施するための体制づくり～コロナ禍を経て構築したもの～」

発表者 栃木市立赤津小学校 齋藤 詩織 先生

栃木市立岩舟小学校 清水 寛子 先生



5 指導・助言

栃木県教育委員会事務局健康体育課

指導主事 金野 智絵 先生

栃木県総合教育センター

指導主事 永井 千尋 先生

※研究発表内容、指導・助言につきましては、「しろたえ 52 号」に掲載されます。

6 講演「子どもの脳の育て方」～AI 時代を生き抜く力～

講師 株式会社 感性リサーチ代表取締役社長 黒川 伊保子 先生

今、最も注目を集める講演者である黒川伊保子先生。かねてよりお話をうかがいたいと願っていた先生の御講演とあって、期待が高まりました。そして、「この5年で不登校と自殺が異常なほど急増しています。私は、キーは保健室なのでは？と考えているのね。」-そんな言葉で始まった講演に、心をぐっと掴まれました。

今から40年前にAI開発の世界に足を踏み入れた黒川先生のお言葉には、深い説得力があります。「とうとう人工知能と人間と一緒に働く時代が来た。人間には今まで以上に人間力が重要になってくる。」目の前にいる子どもたちは、私たちが経験したことの無い世界、そしておそらく経験することの無い時代を生きていくのだと、改めて感じました。

AIと共に働く時代を生きる子どもたちにとって大切なのが、**早寝・早起・朝ごはん・適度な運動・そして読書**。どれもシンプルですが、脳の健やかな発達を支える基本的な生活習慣です。

具体的で分かりやすい黒川先生の講話によって、私たちがこれまで取り組んできたことは間違っていなかったと、あらためて確信することができました。これからも安心して、子どもたち一人ひとりにしっかりと向き合っていけそうです。

また、「子どもたちの話を聞いて、ダメ出しから入っていませんか？」-そんな黒川先生の問いかけに、ハッとさせられました。自分は本当にできているだろうか。そう自問しながら、**明日から…いや、今この瞬間から**、子どもたちの他愛のない話を「いいね。」「わかるよ。」とまず受け止めようと心に決めました。黒川先生の温かい笑顔と、心に響く素晴らしい講演のおかげで、私自身の脳の「電気信号」がつながるような、そんな大切な時間となりました。



7 内留報告

「養護教諭が行う健康相談における支援ツールの提案

～認知行動療法の考え方に基づいて～」

発表者 那須塩原市立日新中学校 緑川 利恵 先生



令和7年度栃木県養護教育研究会総会

令和6年度事業報告・決算報告、令和7年度事業計画案・予算案、新役員が承認された後、退任される先生方を代表し大牧稔元会長からのあいさつがありました。新たに着任された岡村安将新会長のもと、令和7年度が滞りなくスタートいたしました。

◆今回の研修当番は下都賀地区でした。御協力いただきありがとうございました◆